

World YWCA

World YWCA Annual Report 2005-2006

世界 YWCA 年間活動報告書 2005—2006 年



> EMPOWERING WOMEN AND GIRLS



日本語版作成

日本YWCA

『女性のエンパワーメントとジェンダーの公正を追求することは、 YWCA が私に教えた最良の教訓です』

— 南アフリカ副大統領 プムズィレ・ムランボ・ヌクカ —

インドやウクライナ、ベリーズ、カメルーン、レバノンなどあらゆるところで、女性が小規模な事業を立ち上げる際、読み書きを教えるプログラムを始める際、暴力や人身売買についての意識を高める際、また HIV 感染を予防する際に、YWCA はあらゆるレベルの女性や少女をエンパワーし、彼女たちの人生やコミュニティを変えられるようにしています。

2005 年は YWCA が初めて創設されてから 150 周年にあたり、YWCA にとって重要な節目となりました。この記念すべき年にあたり、世界中の YWCA は過去を振り返り、1 世紀半の間の著しい成長と業績を祝うことが出来ました。また将来にも焦点があてられ、現在や将来における新たな要求と変化し続ける優先課題への対応に必要となる、不断の刷新と発展に主眼が置かれました。

働く女性に宿泊所と精神的な援助を提供する、イングランドを本拠地とした小さな組織として 1850 年代に始まった YWCA は、開発事業の分野で評価の高い組織となり、また世界最大級の女性組織のひとつとなっています。YWCA の成功と力はこの組織を築いた多くの優秀な女性によってもたらされ、彼女たちは現在、世界中のビジネス・政府・コミュニティで影響力のある意思決定を行う地位にあります。2005 年 10 月にスイスのジュネーブでおこなわれた YWCA 150 周年記念式典の来賓演説者がその一例です。プムズィレ・ムランボ・ヌクカ閣下は 10 代から YWCA に参加し、2005 年 6 月に南アフリカ初の女性副大統領に任命されるという歴史的な偉業を達成しました。

YWCA は世界中で社会的・経済的・文化的な変革をおこなうための最も効果的な戦略として、女性や少女のリーダーシップ養成に投資しつづけています。世界 YWCA は今年、世界中で開催された地域研修を通じて、コミュニティに影響力を与えられるリーダーシップの養成により一層力を注ぎました。これらの研修の最大の焦点は、現代を生きる女性や少女にとって最も差し迫った問題のひとつとなっている HIV/AIDS に対応するためのリーダーシップの結集と、YWCA の管理を強化し説明責任を果たすためのスキルでした。こうした YWCA の管理強化と説明責任は、YWCA が十分に統率されあらゆる面で説明責任を果たすために私たちが尽力する点を反映しており、これは私たちが国際 NGO 説明責任憲章に署名し共同採択したことにも表れています。

識字訓練、経済的なエンパワーメント、性と生殖に関する健康および HIV/AIDS、平和構築、災害への対応、女性や子どもへの暴力を減らすための活動など、女性をエンパワーするための草の根のイニシアティブを世界 YWCA の小規模プロジェクト基金を通じて支援しました。

YWCA は数千の地域コミュニティで草の根に立った活動をし続けています。YWCA は最大限活用できる資源に焦点を当て、活動の将来性を確実にする戦略を発展させ、また影響力を強めるため幅広い協力団体と協働しています。125 カ国に広がっても YWCA は決してその本質的な価値と目的を見失わず、世界中の女性や少女に影響する問題について声を上げ続けています。

会長 モニカ・ゼツチェ

総幹事 ムシンビ・カニヨロ

Leadership Development : リーダーシップの養成

Empowering Women & Girls At Every Level

あらゆる立場の女性と少女をエンパワーする

『YWCAの主目的はリーダーシップ、つまりあらゆる立場の女性をエンパワーすることです。YWCAは女性からの声にもとづき、暴力やHIVなど非常に現実的な問題について話し合う安全な場所を創造しています』

— 元アイルランド大統領・元国連人権高等弁務官 メアリー・ロビンソン —

女性が教育やスキル・資源を得る場を与えられ、人並みの暮らしをする収入を得て自信を高められ、また暴力から解放されて暮らすことができれば、女性だけでなく彼女たちの家族やコミュニティも恩恵を受けます。YWCAは女性が社会で担う重要な役割を認識し、プログラムを世界中に広め続けてより多くの女性や少女がコミュニティ全体のためにリーダーシップを身につけられるようにしています。

女性のリーダーシップや女性全体の力を養成するため、私たちが昨年行った企画には次のようなものがあります。レバノンで行った看護研修により女性・若者・学校中退者が資格を得て就職する機会を得ました。パプアニューギニアの5つの地域YWCAでマイクロクレジット構想がうちたてられ、女性が小規模な起業をして経済的に自立できるようになりました。エルサルバドルでサンタアナ火山が噴火した際にはYWCAの女性ボランティアが、被災したコミュニティの200家族の緊急救助にあたりました。ウクライナYWCAは10代の暴力に焦点を当てるため、ウクライナの若者に寛容と、調和して暮らすことの必要性を説きました。コミュニティ変革を主導する女性をエンパワーするための効果的な方法を世界YWCAが記録しはじめたことを受け、性と生殖に関する健康の権利・HIVとAIDS・女性に対する暴力と人権といったテーマの研修モジュールがザンビア、フィリピン、ベラルーシ、エルサルバドル、レバノン、ジャマイカで若い女性を対象に実施されました。

また、世界YWCAは各地域での研修を通じて、地域レベルでのリーダーシップ養成の場を広げています。これらの研修はYWCAのリーダーがコミュニティでの課題に効率よく取り組めるようにするために実施されています。2005年4月から2006年3月の間に南米・アフリカ・太平洋沿岸地域・カリブ海地域・中東・アジアの6つで地域研修が開催され、72カ国から350人以上の女性が参加しました。各研修の参加者のうち30パーセントは若い女性で、すでに活躍するリーダーのリーダーシップのほか、新しいリーダーシップが養成されました。これらの研修の主眼はHIV/AIDSへの地域での対応の結集に置かれました。参加した女性は女性と少女向けのプログラムや、組織管理と適切な運営を強化するためにあらゆる資源を活用するためのスキルを身につけました。またこれらの地域研修により参加者は成功例を共有し、地域の女性や少女に影響する問題への対策を練ることができました。

全世界の若い女性は、世界YWCAのインターンシップ・プログラムを通じてリーダーシップを養い、経験を積むことにより新しい文化を見聞する、またとない機会を与えられています。ナミビアとアルゼンチン出身の若い女性はスイス、ジュネーブの世界YWCA事務局で1年を過ごし、世界的規模のプログラムとコミュニケーションに従事して、ジュネーブや海外で行われたレベルの高い内容の行事で若者の意見を反映させました。アメリカとパプアニューギニアの若い女性は昨年ジュネーブで行われた人権アドボカシーのインターンシップに参加し、ウルグアイと台湾の若い女性2人はニューヨークで開かれた国連女性の地位委員

会に世界 YWCA 代表として参加しました。インターンシップ・プログラムを経験した女性たちはみな、ネットワークを広げ、世界規模で女性に影響を与えている問題についての意識を高め、それぞれの国で変革を導くための新しいスキルを身につけています。

HIV & AIDS : HIV と AIDS

Equipping Women & Girls To Respond Effectively

効率よく対処できるよう女性と少女の力を育てる

『YWCA は世界中ですばらしい事業を行っています。感染から身を守り、病んでいる友達や親類を介護するために必要な知識を少女や若い女性に授けているのです。この組織がリーダーシップに焦点を当て、意思決定の分野で明確に女性の声が反映されるよう促している点も大変重要です』

— 国連エイズ合同計画 (UNAIDS) 事務局長 ピーター・ピオット —

世界のあらゆる地域で、HIV と共に生きる女性の数は増え続けています。一部の地域では新しい感染の 80 パーセントは若い女性や少女に起こっています。HIV/AIDS が女性と少女に及ぼす影響への対処は、YWCA のアドボカシー、リーダーシップおよび資源の分野で 1999 年から世界規模での優先課題となっています。世界規模での AIDS 対策を指針とし、世界 YWCA は数々の分野で HIV/AIDS に取り組んでいます。私たちの総体的な目標は、感染から身を守れるよう女性と少女を教育することと、HIV 陽性の女性を支援して、実りが多く満ち足りた人生を送れるようにすることです。また YWCA は HIV の蔓延により生じた当面のニーズに対応するため、暴力の犠牲になっている女性と子どもにシェルターを提供し、自宅やコミュニティでの介護を助け、買春に従事させられている女性が活路を見出すのを支援しています。女性の声を広め、世界中の女性が苦しんでいる差別や不正に対処するうえで、アドボカシーもまた私たちの重要な任務です。

YWCA は 70 カ国以上で、HIV と共に生きる人々に対する汚名や差別の根絶・教育・予防・介護とコミュニティ支援の分野で HIV/AIDS 問題の改善に取り組んでいます。以下は、コミュニティレベルでの私たちの主な活動です。

> カメルーンでは HIV 陽性の女性が病院に拒否され治療を受けることなく亡くなっていましたが、ヤウンデ YWCA はプロテスタントの教会評議会と協働し、救命のための抗レトロウイルス治療と援助を提供しました。

> ブラジルのリオデジャネイロ YWCA は公共施設の不十分な地域で、思春期の子どもたちの妊娠と HIV 発生を減らすことを目標に健康教育のプログラムを開始しました。

> ケニアのキスム YWCA は AIDS によって増え続けている孤児に緊急補給品として食物と衣服を配布しました。また自活できるように職業研修を行って、多くの両親のいない子どもたちを支援しています。

>ベリーズでは成人の HIV 感染率が中央アメリカで最も高いため、YWCA は HIV についての幅広い教育および意識を高めるプログラムをベリーズシティ、ゲールズポイントで開始しました。

アフリカは世界的な流行病である AIDS に最も大きな影響を受けているため、世界 YWCA は 2005-2006 年にアフリカでの HIV/AIDS プログラムの強化と拡大に力を注ぎました。ジンバブエのハラレで開催された地域研修(RTI)で、地域の YWCA は HIV/AIDS の効率よい対処方を習得し、すでに活動を行っていた国の取り組みを評価しました。またこの研修により、女性や少女の生活を改善している適切な実践例が認識され、共有されました。この地域研修では HIV 陽性の女性のリーダーシップに主眼が置かれ、同時に開催されたイベントでは若い女性に AIDS についてのリーダーシップ・スキルを向上する機会が与えられました。2005-2006 年に行われた他の研修では、HIV/AIDS が女性と少女に与える影響に対して地域や国レベルでの対応強化の結集などがテーマとなりました。

世界 YWCA は効果的な活動によって目標を達成するため、国連機関・青年団体・キリスト教会の世界的なネットワーク・女性組織との協力を強めています。YWCA は特に HIV 陽性の女性の積極的な活動参加を呼びかけているため、HIV/AIDS と共に生きる女性国際コミュニティ(ICW)は重要な協力団体となっています。世界 YWCA は「女性とエイズに関するグローバル連合」との協力を通じて在宅医療の分野と、地域コミュニティで AIDS について女性と少女のリーダーシップを結集する分野で指導力を発揮し続けています。

ジュネーブで開かれた 2005 年の世界エイズデーで世界 YWCA は「女性による AIDS 解決策」に焦点を当てた円卓会議を主催し、発展途上国のより多くの女性が女性用コンドームを入手できることを求める声明を発表しました。

バンコクで開かれた「開発における女性の権利協会(Association for Women's Rights in Development, AWID)グローバルフォーラム」に際し YWCA は HIV/AIDS における女性のリーダーシップについて委員会を召集しました。「第 14 回アフリカのエイズと性感染症に関する国際会議(ICASA)」にはアフリカの 8 つの YWCA の代表団が派遣され、この会議で世界 YWCA は国連女性開発基金と協同で HIV/AIDS に関する円卓会議を主催し、アフリカでの医療活動を実施しました。また YWCA は、ICASA の前に開かれた HIV と共に生きる若者のためのスキル養成ワークショップで講座を主催しました。今年 YWCA は「HIV/AIDS と闘うビジネス・ウィメンズ・イニシアティブ(BWI=Business Women's Initiative Against AIDS)」の運営委員会にも参加し、女性と少女に AIDS がおよぼす影響に対処するため企業部門の女性の専門知識と資源を結集するようつとめました。

Advocacy : アドボカシー

Enabling Women & Girls to Lead Change

女性と少女に変革を導く力を与える

『女性社会の中であって、平和をはぐくむ文化を創造する上で果たすべき特別な役割を担っています。平和をはぐくむ文化の創造は家庭に始まり、コミュニティから国家へ、さらにこれを越えて広がっていきます。私はこの社会変革のプロセスにおいて YWCA が果たしている積極的な役割を評価し、喜んでその活動を支援します』

— 世界 YWCA 広報大使 ハスマ・ヒント・タラル ヨルダン王女 —

平和をはぐくむ文化の創造活動は、世界 YWCA のグローバル・アドボカシーの基盤となっている課題のひとつです。ほかにも人権問題、持続可能な発展、女性の健康、および HIV/AIDS などの課題に取り組んでいます。世界の 2500 万人の女性や少女へ広がる YWCA は、世界中の女性や少女にとって尊敬され信頼される代弁者となっています。世界 YWCA は各地域の視点や草の根レベルの体験を国際的な政策や意思決定の舞台にまで持ち込み、教育・貧困・暴力・武力紛争・人身売買といった重大な問題に取り組んでいます。責任を委ねられた指導部やスタッフ、あらゆる分野に影響力を持つ世界 YWCA の女性リーダーたちの国際的ネットワークを活かし、世界 YWCA は意思決定プロセスにおいて女性と少女の存在が不可欠であることを実証しています。

2005 年から 2006 年における主なアドボカシー活動は次のとおりです。

- > 国連人権委員会に対して人身売買のサバイバーの問題への取り組みとサバイバーの安全な帰還および中東地域の平和を要求する声明文を送付しました。また女性の人権に対する日常的な侵害と関連付け、AIDS の感染拡大防止におけるジェンダー平等の重要性を訴えました。
- > 公正な貿易を促進する世界各地の YWCA は、世界各国の政府に対して、貿易協定において人権に関する合意事項が確実に反映されるよう促すため、公正な貿易のための国際活動週間キャンペーンに参加しました。
- > オーストラリアのメルボルンでの先住民女性会議において世界中の女性の団結を促し、女性の人権擁護を支持する基調演説を行いました。
- > あらゆる形態での暴力の廃絶を目指す毎年恒例のキャンペーン「YWCA 非暴力週間」を世界中の加盟 YWCA に呼びかけ、今年は世界 47 カ国がキャンペーンに参加しました。
- > NGO 中東地域の平和に関する委員会で積極的に指導的役割を果たし、「パレスチナ連帯国際日」の取り組みを会員に呼びかけました。
- > 香港での第 6 回世界貿易機関閣僚会議における貿易協定において、医療と人権への公正なアクセスを求めるロビー活動を行う他の市民グループに合流しました。また、同会議に合わせて開催された、人間中心の貿易 (Life-Promoting Trade) に関する国際キリスト教女性フォーラムに参加しました。

- > ブラジルでの世界教会協議会総会でのワークショップを通じて、HIV と女性への暴力における女性の立場からの取り組みについての認識を高めました。また、総会のオープニング・セッションでは、エキシブティブな運動へのより多くの若者の参加を呼びかけました。
- > 開発活動への女性の参加の促進と意思決定への男女の平等な参加を主題とする、ニューヨークでの第 50 回女性の地位委員会に積極的に関与しました。
- > 世界中の女性に関係する問題に対して高い関心を集め、また、女性に自らの意見・見解を表現する機会を与えるために、新しいウェブサイト www.worldywca.org による女性のニュース・ネットワークを始動させました。
- > 国境を越えた関係を構築し、また高齢者・失業中の女性・障害者・子どもたち、そして困窮者を含む社会の最も弱い立場にある人々を支援するための YWCA の活動を紹介するために、中国に対して文化交流訪問についての調整を行いました。

Global Campaign : グローバルキャンペーン

Women & Girls Securing the Future

女性と少女が未来を守る

『YWCA は女性や少女をはぐくむ活動において信頼される主体のひとつであり続けています』

— 南アフリカ副大統領 プムズィレ・ムランボ・ヌクカ —

全世界の女性や少女を支援するための活動が、私たちのミッションや事業計画の中心になります。1999 年以降、世界各国の YWCA は女性や少女のリーダーシップを養成するためのリソースと機会の拡大を目的に活動してきました。YWCA は「変革への力」と銘打った国際キャンペーン運動を通じて、YWCA のリーダーシップ養成事業を持続可能なものとする基金を設立するために活動してきました。このキャンペーンは財政的リソースを確保する上での活動能力の養成や、私たちの活動にとって不可欠な既存の寄付者を認知しその支援を維持することに主眼を置くだけでなく、女性や少女に関する問題やこれらの問題への YWCA の影響力についての関心を高めることもあわせて重視しています。

キャンペーンが開始されて以来、700 万米ドルが「変革への力」基金に集められました。また、今年開催された各地域ごとの研修など、既存のリーダーシップ養成事業を継続するために、寄付者の皆さんからさらに 450 万米ドルの支援を受けました。世界 YWCA は資金調達プロセスの運用を継続し、さらに、女性のリーダーシップを通じてすべての人々にとってよりよい世界を創造することを目指す私たちのビジョンを、私たちと共有できる協力者を見つけ出す作業を継続しました。私たちは団体会員や国際慈善団体間での協力を促進して、世界全体あるいは地域別のトレーニングのための資金の調達能力を統合しました。100 以上の国々からの 2000 人を超える女性が潜在的な寄付賛同者を見つけ出し、理解を求め、寄付を募る上での専門的能力とあわせて、資金調達活動の展開についての専門技術を習得しました。今年度を通じて資金調達訓練講座が開発され、すべての地域ごとの研修にも組み込まれました。

世界 YWCA は既存の事業を維持するため、協力者からの支援を継続して受けました。既存の事業には次が含まれます。

- ・ 「ドイツ教会開発サービス(EED)」による開発支援
- ・ ウィリアム／フローラ・ヒューレット財団、世界銀行、UNAIDS および UNFPA を含む資金協力者及び関係団体と併せて、世界 YWCA 賛助会員とその遺産を通じての、小規模プロジェクトへの資金供与及び若い女性のトレーニング

YWCA の創立 150 周年は、女性と少女とともに将来に向けて組織活動を持続するための支援を結集する上で、最適な機会を提供しました。2005 年 4 月 24 日の世界 YWCA デーに行われた「世界朝食会」のために、世界 YWCA はグローバルキャンペーンに協力するための資金調達と目的紹介のイベントを各 YWCA が企画するためのリソースを提供しました。その結果、現在では活動中のすべての団体が「変革への力」基金に資金面での貢献を行っています。スイスでは資金調達活動や広報活動が強化され、ジュネーブ市は現地事務所やネットワークを介して世界 YWCA と連携し、150 周年の公式の祝賀行事を後援しました。祝賀行事で講演を行った南アフリカ副大統領 プムズイレ・ムランボ・ヌクカ氏は、YWCA による女性と少女のリーダーシップ養成活動のよい成功例です。行事では、ジュネーブ市長 マニュエル・トルナーレ氏および ジュネーブ州政府長官 マルティン・ブランシュウィッグ・グラフ氏も講演を行い、女性と少女のための YWCA の活動を支持しました。行事は組織の活動に対する地域コミュニティの関心を大いに高め、ジュネーブの潜在的な支援者との関係強化につながりました。

キャンペーン活動の成果は 2007 年の YWCA 世界総会で顕彰される見込みです。YWCA を支援してきた人々の献身的な努力・責任感および寛容の精神は、YWCA の活動に対する長期に渡っての資金面での安定と、次世代の女性や少女に明るい未来を保証します。

Sustainable Development : 持続可能な発展

Resourcing Women to Address Local Issues

女性に地域の問題を訴える力を与えよう

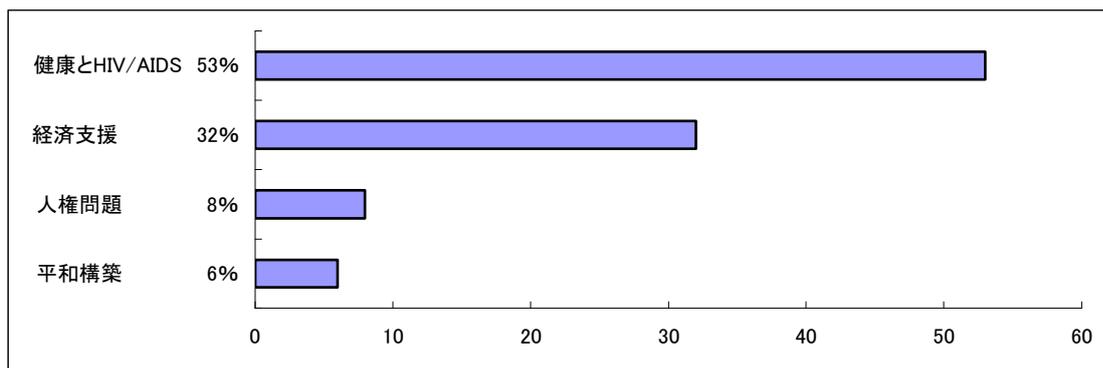
『YWCA が存在したからこそ、私は自信を持つことができ、村議会の議長選挙に立候補したのです。私は 63% の多数を制して当選しました。YWCA の身分証は選挙運動のツールとして活用しました』

— サラ、30 歳（ウガンダ） —

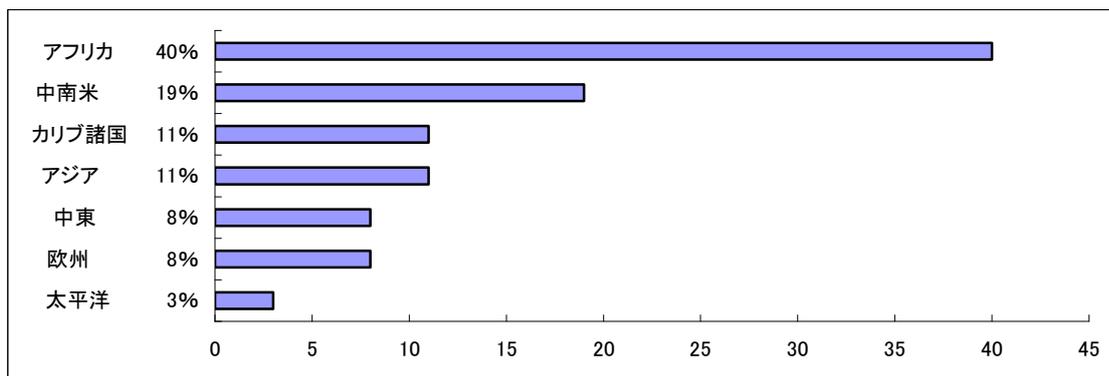
2005 年 4 月から 2006 年 3 月にかけて世界 YWCA は相互援助事業(RSP)を通じて、加盟 YWCA の能力強化を目的に 50 カ国の YWCA に対して資金供与を行いました。51 の加盟 YWCA からの寄付金とあわせて、世界祈祷日ドイツ委員会はこのプログラムの中心的な寄付者です。

さらに、世界 YWCA とその協力団体は 26 カ国 36 の小規模な開発プロジェクトを支援しました。このプログラムを通じて、女性たちはコミュニティが直面している問題に地域の具体的解決方をあてはめ、何千人もの女性や少女に対してトレーニング・支援・アドボカシーそして能力養成を行いました。世界 YWCA は女性の健康と HIV/AIDS・経済支援・平和構築・女性と子どもたちの人権などの分野での広範なプロジェクトに対して資金供与を行いました。40%以上のプロジェクトがターゲットを少女に特化しており、また 50%以上は HIV/AIDS がコミュニティに与える影響に対応したものです。

プロジェクトの資金供与の優先順位



プロジェクトの資金供与の地域分配



世界のYWCAの取り組み

アメリカ大陸 および カリブ諸国

アルゼンチン	性と生殖に関する健康、HIV/AIDS、暴力に関する認識の向上
ベリーズ	HIV/AIDS 教育と奉仕活動
ブラジル	生活スキルと健康に関する教育、10 代の妊娠と HIV/STI(性行為感染症)の予防、パソコン教育
エルサルバドル	火山噴火にともなう緊急支援、若年失業者に対する職業能力支援
ガイアナ	食品の加工と保存
トリニダード・トバゴ	生活面での技術教育プログラム

アジア・太平洋

インド	暴力と差別に対するリーダーシップの養成、職業訓練と家族に対するカウンセリング
インドネシア	女性のリーダーシップ養成
ネパール	読み書きの訓練
パプアニューギニア	小額融資と小規模ビジネスのトレーニング

欧州

ベラルーシ	若者の間での HIV/AIDS への取り組み
チェコ共和国	技術の養成と欧州における相互文化理解
ウクライナ	暴力によらないコミュニケーションと自己尊重

中東

エジプト	HIV/AIDS、薬物乱用および暴力についての関心の向上
レバノン	成人を対象とした看護教育、若者の就職機会の改善

アフリカ

アンゴラ	和解と平和構築ワークショップ
ベナン	HIV、低年齢妊娠、薬物乱用の予防
カメルーン	HIV/AIDS と共に生きる女性や孤児に対する保護と治療
コンゴ民主共和国	性と生殖に関する健康と HIV 教育、HIV/AIDS に関する成功事例の共有と相互活用
ケニア	在宅看護、AIDS に苦しんでいる人々への社会経済面の支援、差別を許さない教育
リベリア	技術の養成による生計維持
マダガスカル	HIV/AIDS の予防と教育
ナミビア	HIV/AIDS のカウンセリング
ナイジェリア	HIV/AIDS と共に生きる女性の在宅看護
スーダン	HIV/AIDS と共に生きる女性と子どもへの支援
ジンバブエ	在宅看護

Fostering Local Solutions : 地域の問題解決の促進

ガイアナ

経済的不振にあえぐバーバイス地方では、意欲的な女性たちのグループがガイアナ YWCA の支援を得て、「マルチ・ミックス製品」とよばれる小規模なビジネスを起業するプロジェクトを始めました。失業率が高く、教育を受けていない人々が溢れるコミュニティで、女性や少女に収入につながる仕事の技術を身に付けさせて、女性たちの自尊心を高めるのがグループの目標でした。世界 YWCA からの資金供与によって、グループは女性たちに食品の保存や加工での利益体験とあわせて、マーケティング・会計・顧客対応・販売・経営計画と展開などのトレーニングを行うことができました。この小規模なビジネスの起業は、ブレンド調味料・タマリンド・マンゴー・保存果実などのような加工食品や保存食品の生産、マーケティングおよび販売に特化されています。毎週 2000 本を超える調味料、1000 箱以上のマンゴーが生産され、クリスマスの期間には 5000 ポンドを超える果物を生産しました。見本市に参加したり、ガイアナ内外での新しい市場をターゲットにしたりして、女性たちはこの堅実に成長しているビジネスを拡大することを計画しています。また、このプロジェクトの成功によって、ガイアナ政府は YWCA に対して、恒久的な作業場所として使用するための土地の提供を約束しました。

インド

昨年、東南アジアに壊滅的な打撃を与えた津波の後遺症の中で、この地域のコミュニティは心理的にも経済的にも傷つき、生活とインフラを再建するための長期にわたる支援を必要としていました。この状況においてインド YWCA は、救援物資の提供・漁業の復活・タミル・ナドゥのダリット（インドのカースト制において“不可触民”と呼ばれる階層）のコミュニティ復興のための事業計画を展開しました。世界 YWCA とスウェーデン YMCA-YWCA からの資金供与により実現したこのプロジェクトは、2000 以上の家族に対して漁業活動を再開できるようにし、傷ついたコミュニティを正常な状態に戻すことに重点を置きました。YWCA は船と漁労器具を与え、また長期に渡る自力での生計維持の回復を目指して、小規模なビジネスを対象にしたトレーニングや返済が容易なローンの提供を行いました。このプロジェクトと並行して、YWCA は家族に対する心のカウンセリング、津波によって配偶者を失った女性への職業訓練、少女たちの教育機関への復帰の機会を提供してきました。

ウクライナ

ウクライナ YWCA はここ数年にわたって、子どもたちや若者を対象に非暴力の文化を創造するための活動を推進してきました。そして新たに、「思いやりに溢れた世界を創り上げよう」というプログラムをスタートさせました。このプログラムはすでに 500 人以上の 10 代の若者に対して紛争の解決、暴力によらないコミュニケーション、社会への適応 および 自尊 などに対するスキルを向上させてきました。このプロジェクトではまず、教師に対するトレーニングから始め、この教師たちが若者たちを諭し、その交流を見守る能力を備えました。ウクライナ中の学校に配付するために 12 歳から 16 歳の子どもたちに対する活動マニュアルも作成されました。若者と教師がプロジェクト展開のあらゆる側面に関与し、自己防衛や交渉の技術、異性との信頼できる関係の形成に至るまでの幅広い課題と、ニーズとの関連性を認識しました。

ケニア

HIV 感染の危険度が高い地域においては、多くの子どもたちが AIDS によって孤児になっており、シアヤ YWCA は地域のニーズに取り組む広範な事業計画を推進しています。教会のリーダーや保健省と協働で、地域のヘルスワーカーが看護・カウンセリングあるいはセルフケアにあたる新しい職員を訓練して、既存の在宅看護を拡大させてきました。孤児や被害を受けやすい子どもたちは、将来への明るい展望が開けるように通学を続け、職業能力を養成する上での支援を受けています。また、AIDS によって配偶者を失った女性たちは、経済的に自立し家族を扶養できるように YWCA から小額の融資やトレーニングを受けています。

- 終 -



世界YWCA 年間活動報告書 2005-2006 年 日本語版

編集・発行責任

日本YWCA 国際コミュニケーションチーム

2007 年9 月

翻訳協力：高橋聡子・後藤幸男

連絡先：〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-8

Tel: 03-3264-0661 Fax: 03-3264-0663

E-mail: office-japan@ywca.or.jp